

伝えたい 残したい 20世紀のうしく



この写真は、平成元年(1989年)9月に桂町で行われた
だんごねんぶつ
の様子を撮影したものです。

桂町の団子念仏は、毎年秋の彼岸の前日に行われ、
家々は団子を作り、菩提寺である金剛院に供えます。
団子はその後振る舞われます。金剛院では「数珠くり念
仏じゆず」が行われ、鉦や太鼓で音頭を取りながら、玉の数1,080
個、長さ30mの大数珠を「南無阿弥陀仏」と唱和し、健康・
家内安全や豊作を祈願して参加者全員で数珠を繰りま
す。その後、大数珠を束ねて棒に括り、当番が担ぎ地
区全戸を回ります。

今年の団子念仏は、金剛院で9月18日(火)に行われます。

(うしく写真クラブ「みち」所蔵)

「昔のうしく」の写真を募集しています

皆様のご家庭に眠っている「昔のうしく」の写真はありませんか？

市では今、そのような「昔のうしく」の写真を収集しています。「懐かしい」「残したい」写真がありましたら、ぜひご協力ください。※市のホームページの「牛久市の文化芸術」の中に掲載を開始しました。

問 生涯学習課 ☎ 内線3031



かわい幼稚園のお友だちは、これから迎える秋にちなんで「あき」と書いた作品を披露してくれました。

園児たちは、一人ひとり墨を擦って、先生に筆の持ち方や文字の書き順などを教わりながら、作品を完成させました。

みんな、「あき」とお名前を大きく元気に書けましたね。

かわい幼稚園 のお友だち



ほしぐみ、るりぐみ

再生紙を使用しています。

環境に優しい大豆インキを使用しています。

平成24年9月1日(1080)号

発行・編集 / 牛久市市民活動課

〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1

☎029-873-2111 FAX029-873-2512 ホームページ <http://www.city.ushiku.ibaraki.jp/>